

## 第 17 回 池田町行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和 4 年 3 月 25 日

午後 1 時 30 分～5 時

場所：役場 2 階大会議室

### 出席者（敬称略）

○委員 10 名：（名簿掲載順）

和澤忠志、宮嶋將晴、山沖義和、大野太郎、丸山史子、瀧澤洋子、村端浩、山崎正治、赤田伊佐雄、森いづみ（オンライン参加）

○事務局（企画政策課） 4 名：

大澤孔（課長）、塩原長（町づくり推進係長）、丸山佳男（同係振興担当係長）、矢口拓実（同係主事）

（司会：大澤課長）

### 1 開会（丸山副会長）

### 2 会長あいさつ（山沖会長）

話題がコロナからウクライナに移ってきた。この問題は、美術館に限らず行財政改革にも関係してきている。石油価格の高騰の影響が電気代にも及び、信州大学でも電気代が 2 割くらい高くなる。池田町も財政が逼迫する中、電気代が 2 割高くなれば美術館の電気代も 800 万円から 1000 万円近くに増えることとなるわけで、今まで以上に財政のあり方を考えていく必要がある。

今日は、第三次答申も予定され、時間も限られているので進行にご協力をお願いします。

### 3 総務部会報告（事務局 塩原係長）

3 月 16 日（水）オンラインにて第 3 総務部会を開催。答申案の原案について協議した。また、公共施設のその他の部分について、資料の要望などについて意見交換した。

### 4 協議（進行：山沖会長）

(1) 諮問事項 2「公共施設の管理運営の改善に関する事」について

#### 山沖会長

では、大野部会長から第 3 部会の報告を。

## 大野部会長

(部会案について答申案を読み上げて報告)

## 山沖会長

皆さんからご意見を。(特に意見なし)

とくに意見がないようなので、これで第三次答申とさせていただきます、午後4時過ぎに町長に手渡すことにしたい。(確認)

### (2) 今後の進め方

#### (i) 全体スケジュールの確認

## 山沖会長

続いて今後のスケジュールの確認に移りたい。

(事務局から示された日程表および残りの諮問項目について確認)

今後、月2回程度の会議となると、往復に相当な時間を要するので、出来れば2回に1回ぐらいの割合でオンラインを入れ、重要な場面は対面式として開催してもらえれば有り難い。

これらについて何か意見は。

## 村端委員

オンラインも含め、会議の持ち方を出来るだけ工夫し効率化して、ここに書かれている全ての日程をやらなくても済むように努力をしていくべきだ。

#### (ii) 美術館以外の公共施設についての審議の進め方

## 山沖会長

56の公共施設が6ページに掲載されている。これらはまず大きく「行政財産」と「普通財産」に分かれる。それぞれの意味は、6ページ下に説明が記載されている。

これらをどのように検討していくのかがこれからの問題になる。町で何か補足があるか。

## 事務局(塩原係長)

6ページには、町の個別施設計画で扱っている建物部分のみ記載している。時間がなければ、普通財産を除くというのも1つの考え方になる。

7ページ以降では、保育園と小学校の人数の推移、および決算額について、まとめさせて頂いた。(以下表に基づいて説明)

8ページの決算額は、池田・会染両保育園全体でいくらかかったかという総額で示したので、部会等で意見があれば項目を絞ったデータも用意する。ただ、決算額としては両園を1つとして扱っており分けられないので了解してほしい。

9 ページの小学校の児童数の推移では、現在池田町に住民登録のある人をもとに推計しており、今後の転出・転入等については加味していない。

### **山沖会長**

部会で村端委員から、資料についての提案があったようなので、ここで説明をお願いしたい。

### **村端委員**

公共施設は相当な数になり、1つ1つを議論していくことには無理がある。

そこで、行政から諮問事項として求められているものは何かを自分なりに考え、分野別に分類して書き出してみたものが手元の資料だ。それぞれについてどんなデータが必要なのかも書き出している。

公共施設の中で、交流センター、体育館、福祉センター（やすらぎの郷）などは、ここでは検討から外してもいいのではないかと考えた。

どのような施設を扱ったらいいのかという観点からまとめたもので、これらに付け足すもの、削るものをまず検討していったらいいのではないか。

第3部会の守備範囲は美術館だけではなかったはずだとの思いから、このような資料をつくった。

### **山沖会長**

第3部会の位置づけについても相談したいと考えている。公共施設全体を考えるにあたって、とりあえず美術館を切り離してという流れだったと理解しており、今後の議論も第3部会で取り扱ってよいのではないか。

ただ、部会員であった大野部会長、森委員が3月で退任されるので、部会の構成についても相談させていただきたい。

現在のメンバー3人に、他にどなたかが手を上げて頂ければよいが、なければ私が加わってもよいと考えているが。

### **村端委員**

いままで委員会の半数の5人でやってきたが、ちょっと多いという気もするので、町の施設等に詳しい宮嶋委員に加わってもらい4人で構成するのはどうか。

### **山沖会長**

宮嶋委員にお願いすると言うことでよろしいか。（異議なし。本人も了解）

あと、どのような施設を扱うかについての意見は。

### **赤田委員**

会染保育園については、現在の場所で建て替えるか、池田保育園と統合するかというのが、

別の委員会で議論されていたと思うが、私たちの委員会との関わりというか、この場で議論すべきなのかどうか、そのあたりをどう考えたらいいのか。

### **山沖会長**

現状はどうなっているのか。

### **事務局（塩原係長）**

教育委員会で委員会を立ち上げて、パブリックコメントも取り、現在は現地建て替え、池田保育園に統合の2つの案が残っているという段階だ。そちらでは、そのような方向が出ているが、行革委員会は行革の視点で議論して答申してもらえればよい。町長もそのように述べている。

### **大澤課長**

令和3年度に教育委員会で検討し、2案の答申があった。今後、令和5年度に最終的に方向を決め、令和6年度に設計に入るという段取りになっている。令和4年度は皆さんの意見を聞いて最終決定をする時期なので、その中の1つとして行革委員の皆さんから財政改革に重点を置いた答申をして頂ければよいと思っている。

### **山沖会長**

第1に、2案のどちらかにするということが決まっているだけであり、第2に、検討をさらに加えるのが現状だと理解してよいのか。

### **大澤課長**

2つのうちのどちらかにするというので、それを4年度、5年度に決めるという流れだ。

### **山沖会長**

それを決める場合は、別途、どこかにあるということか。

### **大澤課長**

町長を含め、教育委員会で判断するというので、検討機関を設けるかどうかまでは分からない。町で最終決定していくということだ。

### **村端委員**

2月26日の市民タイムスに、学びの郷活性化委員会の部会が最終答申を報告したという記事がある。それによれば、現地建て替え、池田保育園に統合という2案に絞り、令和8年度の開園を目指すとなっている。

どのように決定するのかについて、町長部局と教育委員会部局を横断した協議組織で検討し、議会・町民との意見交換を行って決定することを求めたと書かれている。

要望事項としては、財政健全化の視点ばかりでなく、幼児教育、保小中15年プランや保

小接続の重要性を考慮することなどをあげている。

### **山沖会長**

報告書がホームページに載せられているようなので、全員にそのアドレスをメールで知らせてほしい。

施設について何か質問、意見はあるか。

### **山崎委員**

小学校には定員があるが、保育園の定員はどうなっているか。

### **宮嶋委員**

保育園の定員は、未満児まで入れると池田が 150 名、会染は 120 名、計 270 名である。年齢別の定員もある。

### **山崎委員**

3 月 11 日の市民タイムスで紹介された池田町の「令和 3 年の町内の出生数が前年比約 4 割減の 23 人で、過去最低」という記事は衝撃だった。

教育は最重要課題で、行革にとっても子どもがいなくなると議論が違ってくる。

5 年前の平成 29 年でも 31 人、今年が一番少ない 23 人。これに対して松川村では 3 年連続伸びて 58 人。

小学校の定員 35 人を考えると、池田に 2 校必要なのかという話が現実の問題になってくる。コロナ禍が 2 年連続で続いたこともあるかと思うが、出生数の議論は外せないのではないか。

### **宮嶋委員**

現段階で、どの公共施設を扱うかを決め、その上で、たとえば保育園、学校からやってくとかの交通整理をしていただきたい。どれを扱うかは、第 3 部会で示されたもので大抵いいのではないか。答申に合うかどうかは別にして、交流センターや総合福祉センターも、一応の状況を把握する意味で加えてもいいと思う。

### **山沖会長**

この中に普通財産である金の鈴会館とか旧福社会館があるが、村端委員が取り上げたいという意味は何か。普通財産なら最終的には賃貸か売却とかになるのだと思うが。

### **村端委員**

私の提案の表で、旧福社会館も入れているが、実際には今、日本アルプス国際学院が使っているので、検討から外してもよいと思う。金の鈴会館は、現在、池田町観光協会が入っているが、建物自体はほとんど耐用年数を過ぎて取り壊さなければならないようなものだ。施

設統廃合の 1 つの素材にはなり得るということと、観光協会は来年度から一般社団法人になるとはいえ、池田町の観光の最前線に立っている大事な部署なので、今後の運営を考えるためにも施設についての何らかの方策を考えるべきだという意味で金の鈴会館を挙げてある。

### **山沖会長**

池田町観光協会が社団法人化するのであれば、古い建物でもう使えないことになれば、どこか他を借りればいいので、ここでその建物を議論する必要があるのかどうか。観光協会・観光推進本部のあり方についての話のように聞こえるが。

### **村端委員**

推進本部や観光協会をどうするかという意味では無く、建物自体が古いため社団法人になるからどこか借りればいいのではないかという単純な話ではない。実際には観光協会に補助金として 2000 万円くらいを出しているわけで、これまでの経過がわからないと話が通じないところがある。

### **事務局（丸山係長）**

普通財産である金の鈴会館は、池田町商工会に無償で貸し付けをし、商工会の運用として、現在、池田町観光協会が借り受けて使っている。来年度から一般社団法人化することになっているが、来年度についても補助金の交付があるので、その補助金については次の諮問事項で議論していくのが適当ではないか。

古い建物については選択肢が限られ、不具合があっても改修して使い続けるのか、退去してもらって解体あるいは売却するかだ。ただ、それはあくまで普通財産の運用と利活用という問題になる。

### **山沖会長**

今までのことを聞いている限りでは、取り上げるのは構わないのだが、これから議論していこうとする公共施設、たとえば町が管理運営している指定管理施設などとは、対象が若干違う気がするので聞いた。

池田児童クラブ、会染児童センターは保育園・小学校に付属しているのか、または別の場所にあるのか。

### **大澤課長**

池田児童クラブは池田小学校の近くに別棟としてある。会染児童センターは会染小学校の隣に別棟としてあり、それぞれ運営されている。

### **山沖会長**

小学校の一部の児童が使うというイメージでよいか。小学校の生徒数と連動するわけだ

から、小学校を取り上げるのであれば、児童センターも対象とする考え方があってもよいのではないか。

あと1つ、村端委員に聞きたいが、ハーブセンターの南隣にある施設はハーブセンターと一体のものなのか、どこまでが一緒なのかよくわからない。

#### **村端委員**

ハーブセンターは、簡単に言えば県道を挟んで西側と東側になる。西側は、商業施設本体（従来「ハーブセンター」と呼称）とその南に隣接する2つ（食堂と加工施設）の建物、東側がガラス温室と農場となる。

#### **大澤課長**

6ページの表にある「ふれあい農場」は、クラフトパークに上がっていくところにある市民農園の休憩所でハーブセンターとは別物になる。

#### **山沖会長**

東側にある施設はハーブ温室だけということか。

#### **大澤課長**

その通りだ。県道の西側にはハーブセンターがあり、その南側に「野のかおり」（食堂）、「シャノワール」（喫茶・菓子店）が並んでいる。道路の東側はハーブ温室（売店）となっている。

#### **山沖会長**

ハーブセンターは「てる坊市場」が指定管理者になっているということか。

#### **和澤委員**

ハーブセンターの南側は、以前は町直営でやっていたが、現在は指定管理者の「てる坊市場」が西側の施設を一体として引き受け、その上で食堂や売店は「てる坊市場」が別の業者に営業させている。「野のかおり」や「シャノワール」は、ハーブセンターから建物を借りて営業している。

#### **山沖会長**

村端委員は、これらの4つとも対象にしたいということでよいか。

#### **村端委員**

その通りだ。

#### **赤田委員**

ハーブセンター（西・東）は結構広くて、どのように仕分けをしているのか分からないの

で、資料を出してもらったらどうか。クラフトパークについても、創造館、美術館、食堂があり、芝生があって、同じように分かりにくいので、現状が分かるような資料がほしい。

また、町なかに駐車場がいくつも出来ており、最近車の台数が増えているように見える。賃貸している駐車場があるのかどうか、その収支はどうか知りたい。

金の鈴会館も町が商工会に無償で貸していたのかどうかも気になる。

### **事務局（塩原係長）**

第13回（1/27）の資料として配布したものに「主要建物情報一覧表」がある。その2ページ目の15番目にハーブセンター、16番目にハーブガーデンが載っている。

ハーブセンターの収支では、360万円の収入は施設使用料、50万円の支出は指定管理委託料（トイレ部分）。てる坊市場に、西側の施設を包括的にお願いしている。

ハーブガーデンについては、温室とガーデンを併せてポラリスアクトに1,381万円で委託、乾燥施設作業場については温室売店としてポラリスアクトに貸しているため、賃料として40万6千円を払ってもらっている。

同じ資料の11番目の金の鈴会館については、町が商工会に無償貸与しており、管理費用はすべて商工会持ちとなっており、直接的に町が支払っているものはない。

### **宮嶋委員**

どの施設をやるのかを決めて、その順番になったときにもう少し詳しく図面だとかお金のやり取りなどの資料を出してもらえばよい。ここですべて出されても、2重3重になる。

### **山沖会長**

どこまでやるかという判断のために今話が出ていると思う。金の鈴会館がどうかと今一瞬思ったが、今の話では取り上げても取り上げなくてもいいような気がするが、どうか。

### **宮嶋委員**

答申項目にするかどうかはともかく現状把握をして頂くということでよいのではないか。問題点が内在しているかもしれないし、むしろ補助金の話になるのかもしれない。

### **村端委員**

補助金があるので、収支には載ってこない。観光協会はこれまでも池田町の観光に貢献してきたわけだし、社団法人になるといっても今後この施設で10年、20年続けられるのか。この施設としては長く使えないとすれば何らかの対応を考えなければならない。

また、「シェアベースにぎわい」は指定管理料として町が360万円近く出しており問題が指摘されている。そうした町なかの施設を全体として考えたいと思い、資料にあげさせてもらった。

## 宮嶋委員

補助金は補助金、建物は建物と切り離せないものがある。美術館でも建物の問題と指定管理料、電気代がセットになってくる。ハーブセンターでも圃場委託料、あるいは温室の店の問題、それらを絡めて適正かどうか判断しなければならない。建物だけという話にはならないわけで、建物を考えるときにお金の問題も含めてある程度やっていかなければならない。

これからの審議日程を考えると、タイトだが問題点だけ指摘して次々とやっていかないと終わらない。

## 山沖会長

ところで、個別に1つ1つ取り上げてやっていくということによろしいか。ここは確認させてほしい。整理の仕方として、指定管理されているものを一括して議論するやり方もある。他のやり方もあるかもしれない。

意見がないようなので、1つひとつやっていくことにするが、いくつかまとめていかないとバラバラでは問題点が分かりづらい。たとえば、小学校、保育園、児童クラブをまとめて考える、あと、指定管理についてはまとめてやっていくというやり方で進めたい。

(取り上げる施設を確認)

なお、岡麓(おかふもと) 終焉の家は取り上げなくてもよいか。

## 事務局(丸山係長)

文化財に指定されているが、今のところコストはかかっている。また、普通財産として隣接する土地と建物があるが、こちらについては普通財産としての利活用を今後検討していくことになっている。

## 山沖会長

途中で必要があれば増やせばいいし、答申まで行かなくてもいいものもでてくる。今、挙げた施設でよろしいか。

## 和澤委員

岡麓終焉の家は是非入れてほしい。これは池田町の貴重な文化資産であり、絶対に守っていかなければならない。池田町はあまり文化財に興味がない。池田町には有名な人が多い。てるてる坊主の館も同様で、金がないからとか、文化財に興味がないからということではなく、守っていくよう検討してほしい。

## 山沖会長

それでは、岡麓終焉の家も入れておくことにする。

基本的には村端委員から提示された内容を中心に、それ以外にも管理形態などを含めて整理しておいてほしい。

まず、指定管理とか、委託とかがわかるように、まず、どのような形の使用形態になって

いるのか、更には直営のところでは人件費がどうなっているのかなども入れた資料を作ってもらいたい。

細かいところは、部会でまとめていくことにしたい。

### **事務局（丸山係長）**

取り扱う対象の施設名の再確認を。

### **山沖会長**

・町創造館、・交流センターかえで、・教育会館（旧図書館）、・てるてる坊主の館（記念館）、・岡麓終焉の家（記念館）、・金の鈴会館、・シェアベースにぎわい、・池田小学校、・会染小学校、・池田保育園、・会染保育園、・池田児童クラブ、・会染児童センター、・総合福祉センターやすらぎ、・本庁舎、・ハーブセンター、・野のかおり（食堂）、・ハーブ温室（そよそよ売店）、・シャノワール（菓子店）、以上 19 施設になる。

### **山崎委員**

対象施設が列挙されたが、それらの優先順位をつけることも大事ではないか。まず、喫緊の問題として、私としては、保育園、小学校から始めるのがよいと思うが。

### **山沖会長**

今日は、他の資料は出ていないので、とりあえず保育園、小学校について、残りの時間で話をしたいと思っている。それはそれとして順番は決めてもいいが、これについてはまずは部会で話をして頂くことでよいのではないか。

では、ここで休憩を取りたい。休憩後 4 時過ぎに町長に来てもらい答申を渡したい。

<休憩>

### **山沖会長**

では再開する。先ほど保育園、小学校の資料を頂いたので、説明を受け意見交換したい。

なお、先ほど話のあった会染保育園の最終答申が配られている。最終答申ということだが、案としては 2 つに絞られているところまでである。

では、皆さんから意見を願います。

### **和澤委員**

答申案の他にパブリックコメントの結果がある。議会には配布されたが、これもあった方がよいのではないか。アンケートをとって、何番の選択肢がよいかの人数も載っている。半数以上が池田保育園と統合した方がよいという意見となっていた。

## 山沖会長

もともと池田保育園の定員が 150 名で、現状でも両園を併せて 202 名なので、当然ながら池田に統合しても今の施設では無理がある。

最終答申の 4 ページには、3 案から 2 案に絞った経過として、パブリックコメントの結果、1 番目に池田保育園に統合、2 番目に現地建て替えがよいとの結果が多かったとなっている。統合の場合は、令和 8 年度時点での見込みで、両園の園児全てを現在の施設で保育することは無理だということも書かれており、別棟を作りスロープでつながざるを得ないということになるようだ。

## 和澤委員

この時点で何人生まれるか分からないから、別棟を建てるということになったのだろう。令和 3 年で 23 人が続けば、30 人くらいは生まれるとは思いますが、5 年で 150 人、全員が保育園に行っても 150 人しかいないので 1 園でもなんとかなるとも考えられる。令和 8 年では、このようなことも踏まえなければならない。

3 ページ下には、決定に向けて検討に加えてほしいこととして、未満児の利用希望者が増える中で、待機児童を出さないためにも小規模保育事業者への民間委託導入を検討されたいとある。夫婦で働く人が多くなっている現状で、未満児を小規模保育事業者に委託できれば、1 園でもいいかなと考えられる。

## 山沖会長

事務局に聞きたいが、統合すれば、当然、年々の経費は安くなると理解すればよいのか。

## 大澤課長

統合し 1 園にすれば、直接経費の削減につながるるとともに、クラスも 2 つが 1 つになり、保育士の人数もある程度削減が見込めると教育委員会では考えている。

## 山沖会長

もとの資料 8 ページにバスの運行事業があるが、統合すればバスの運行が結構増えるのではないかと思われる。資料 8 ページの表では、平成 27 年度から 28 年度にかけて費用に大きな変化が見られるが、その理由は何か。

## 事務局（丸山係長）

平成 27 年度までは会染保育園で、保護者自己負担で送迎サービスをやっていた。その関係で事業費が 300 万円、400 万円かかっていた。28 年度以降は朝夕の送迎は廃止になったが、園外活動にバスを利用してきたため、少ない事業費だが残っている。送迎サービスは会染保育園だけで、池田保育園はもともとない。

## 山沖会長

令和2年度に一般職の person 費が大きく増えている理由は何か。

## 事務局（丸山係長）

会計年度任用職員制度の開始によるもので、それまでは臨時的経費の物件費扱いになっていたが、経常的経費の person 費扱いになったために数字が変わっている。制度開始によって、基本給の単価が上がり、期末手当の支給も始まり、法定福利費も上がったために増加したという要素もある。

## 大澤課長

決算額の表の上から3行目、下から3段目の「内臨時職員賃金」が、令和2年度から「内会計年度任用職員分」にスライドしたと読んでいただければよい。

## 山沖会長

令和元年度、2年度は2億2千万円強だが、それ以前は平成26年度を除き1億8千万円から2億円となっている。保育認定事業が大きく上がっているが、そういうものなのか。他に質問、意見は。

## 山崎委員

バスの送迎廃止というのはニーズが無くなったということか。

## 事務局（丸山係長）

今まである程度受益者負担で何とかなっていたが、送迎を希望する方が減って、事業が困難になったことが要因だと思う。ちなみに、古くなったバスの更新をしたのが平成25年度で、これは交付税措置のある有利な起債を利用している。その後も運営していくつもりではいたが、利用者減で朝夕の送迎は廃止になり、平成28年度以降は、園外活動のみ残ったと記憶している。

## 山沖委員

もう一つ聞きたい。9ページの推計をみると、今後、小学校の児童数がどんどん減ってきている。令和3年では合計412人、6で割れば70人位だが、令和9年度では300人を切り1学年50人位に減っているように見えるが、そのような理解でよいか。

先ほどの話では、出生数は30人位だが、出生以外にこの町に転入してくるとというのが現状なのか。

## 事務局（丸山係長）

最近の傾向は、30～40人の子どもが生まれるが、そのお子さんが小学校に上がる頃には60人くらいになる。つまり、社会増が例年見られた。今後は、移住定住策にも力を入れて

いるし、小学校に上がるタイミングの直前までに池田町に家を建てるというパターンが多いので、それらが今まで通りなら、20人とか30人とかの転入を見込めるのではないかと思う。

### **村端委員**

質問だが、資料8ページでは保育園の場合には会染の児童数が少ないが、9ページの小学校では会染の方で児童が多くなっている。かなり長期間で、そのような傾向が続いている。この違いは地域割りなのか。それとも社会増が会染の方が多いのか、調べておいてほしい。

### **事務局（丸山係長）**

宅地造成の開発は会染地区の方が比較的多く、小学校入学時のタイミングで家を建てるということになると、転入のチャンスが多くなるという印象がある。

### **村端委員**

今、そこはあまり深堀しなくてもよい。

意見だが、保育園・小学校の問題は、どの自治体でも、町づくりや町おこしの1つのポイントだと言われている。子育て・教育が重要だということが強く言われている。

その意味から、子どもが通う場所が近くにあるということは非常に重要な側面になってくる。教育委員会の答申にもある通り、財政的な側面だけから議論してはいけないと私も思う。また、保育園・小学校は、地域コミュニティの柱になる施設であり、その町に元気があるのかどうかを示す場でもある。全く運営ができない状態にならない限りは、極力、現在の場で維持することが大事だ。

とくに保育園の場合は、その地域の保護者の皆さんがすぐに連れて行ける場にあるということが極めて重要であり、1園でよいとは軽々しく言えない。

なお、現地建て替えについて、令和8年度をその年度にしているが、現在の財政状況では令和8年度まで財政危機対応期間なので、その間は公共施設等整備基金を積み立て、極力、借金なしで建て替えができるようにすれば十分やっていけると思う。

将来的には統合ということもあり得るが、保育園は当面2園でやっていく方が望ましいと考える。

### **山沖会長**

パブリックコメントでは意外と統合という意見が圧倒的に多い。

### **大野委員**

私立の幼稚園とか、保育園以外の未就学児の施設はどのくらいあるのか。池田町に限らず、近隣の市町村の状況が分かれば教えてほしい。

## 大澤課長

池田町には民間の保育園は、現在のところない。安曇野市など市レベルになると、民間の保育園もあるが、今はその程度のことしか返答できない。

## 和澤委員

周りで統合に賛成する意見を聞くと、保育園も小学校も、あと5、6年のうちに統合するような人数になってしまう。また、池田工業高校も、今の県教委の考えでは存続が難しい。そうすると、池田工業高校の建物も空いてくる。

だから、総合的に美術館や創造館も含めた中で、会染保育園も考えたらどうか。たとえば、会染小学校を池田小学校に統合したとして、会染保育園を会染小学校に入れれば、会染地区に保育園は残る。何も今ある場所にこだわらなくてもいいのではないか。

## 山沖会長

要は、保育園と小学校を一体的に考えてはどうかという意見と思う。

## 赤田委員

この前、新聞に池田町の出生数が30人とか20人とかというのが出て大変驚いた。これから自然体でいけば、池田町に2つの小学校、保育園が必要かという議論が必ず出てくると思う。2校、2園を維持するより、1つでやった方が絶対費用はかからない。

しかし、池田・会染の長い歴史で考えると、会染保育園があり会染小学校があって高瀬中学校、池田保育園があり池田小学校があって高瀬中学校という仕組みは、残すことができれば残したい。

だから、新婚世帯がどんどん池田町に住みたくなるような施策が足りないように思う。保育園の改築と同時期に会染小学校も大規模改修を予定している。本当にそれをやらなければならないのか分からないこともあるが、最低限のことをやって、もう少し様子を見たいのではないか。

財政面や子どもの人数を見ると統合という方向になってしまうが、統合にならないような施策を10年20年30年単位でやり、会染によい保育園を作っておいてよかったと言われるような政策が求められるのではないか。

## 山崎委員

埼玉県流山市で、人口が16万人から20万人になったという報道が最近あった。子育てがすごい町に学ぶ事が必要。実は、池田町の出生数が23人になったという報道の前は、村端委員の考え方だった。しかし、この数字を見たときに迷いが生じた。

先進の事例に学べば必ず妙案がある。池田町の移住では60代が多いのではないか。しかし、流山市では若い世代が増えている。50代未満に手当をして10年間で人口が4万人増えたという。流山市とは規模も地域の状況も違うが、たとえば子育てのためにバスを2000円

で乗り放題にしているという話もあった。テレワークの時代で、大町市でも人口が増えたという。環境のいいところで仕事をしたいという人も増えている。そのようなことを私たちも、議員も、町民も真剣に考えていくべきだ。

池田工業高校が無くなるかもしれないということが発表されており、非常に残念だ。教育の拠点がなくなれば町は衰退する。保育園・小学校も本当に残したい。若い世代を呼び寄せることが、今、本当に大事であり、アクションを起こせば保育園を建てようという方向にも向かう。今がターニング・ポイントだ。

### **森委員**

保育園の答申に付属の資料があり、方向性に関する 3 つの案のそれぞれの必要経費が挙げられている。一番高くつくのが移設案だが、今回の答申ではなくなっている。2 番目の現地建て替えが約 6 億円強で、池田保育園を増築するのが 4 億円強という試算になっている。この行財政改革委員会としては、そこを見ながらの議論になると思うが、赤田委員、山崎委員の話の流れに私も同感であり、町の姿勢が見えることで将来の子どもの数も変わってくると思う。池田町に住みつつ規模の大きい自治体へ通勤するような若い世帯がこれから増えるならば、また、それを増やしていこうと思うならば、やはり会染保育園、会染小学校の存在は大きいと感じている。

ただ、行財政の観点から試算が既に出されているこの 2 億円分の差額を将来への投資だと位置づけられるのかがポイントであり、行革委員会から出す答申の内容に反映していくのではないかと思う。

### **山沖会長**

この点については議論が尽きないが、とりあえずここで一旦締めて、第三次答申を町長に手渡したい。

## **5 第三次答申書**

### **司会（大澤課長）**

これより池田町行財政改革推進委員会の第三次答申を行う。

### **山沖会長**

行財政改革に関する第三次答申をまとめたのでよろしくお願ひしたい。

今回は、大変重要なことが書かれており、美術館運営に関して取り組むべき対策として、美術館の規模縮小および施設利活用の検討をよろしくお願ひする。

（山沖会長から甕町長に答申書を手交）

## 山沖会長

ただいま説明したとおり、前文に続いて取り組むべき対策を書いている。

町長からは1月に方針を聞いたが、それを踏まえて委員会で検討した結果、1つは美術館の規模縮小をするという方向を出した。令和4年度まで指定管理制度が続くが、令和5年度からは美術品の展示スペースを現在の半分以下に縮小し、管理運営費を2000万円以下に抑えるという内容だ。

次に、もっと重要なこととして、美術館施設の利活用の検討をお願いしたい。行政として、文化、教育、行財政などいろいろな視点から広く町民の意見を聴き、令和4年度中に複合施設としての発展的利用に向けた検討を行い適切な対応を取っていただきたい。

前向きに鋭意取り組まれるようよろしくお願いいたします。

## 麩町長

今日は第三次答申を頂戴した。多くの時間をかけて検討して頂いた結果だと受け取らせていただき。美術館問題は兼ねてからの課題であったが、この答申を受けて関係機関の皆さんとも協議をし、どのように対応するのかを検討していきたい。いずれにしても、令和4年度一杯で指定管理制度の任期が切れるので、その後どうするかについて早速に検討を進めていく。

## 司会（大澤課長）

以上で答申を終了する。

## 6 退任委員あいさつ

### 山沖会長

続いて、3月末で退任される大野委員と森委員からご挨拶をいただく。

### 大野委員

4月1日より財務省の財務総合政策研究所（財務省の中の一部局としてシンクタンクの機能を果たしている）に2年間ほど出向することになった。その間、信州大学も離れることになる。東京へ異動するため、池田町行財政改革推進委員会の委員を退任させていただくことになった。2年後にはまた信州大学に戻る予定になっている。

昨年5月からこの委員会に参画し、その間2度ほど部会長もさせて頂いた。多くの皆様のお力添えも得て論点整理から答申案を作っていく仕事をさせて頂いた。皆様との議論の中で多くの勉強をさせて頂いた。町の将来に向けて具体的な提言をしていくことに携わらせて頂いたことを大変光栄に思っている。

任期途中で退任し、皆さまにはご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げる。この後、残り一年のスケジュールも示されており、詰めるべき論点も多いが、今までの1年を振り返る

と、この先の1年間に於いても充実した議論の中で具体的・効果的な提言が行われることを確信し、また期待する。

皆さま方も、こうした取り組みを進めて行かれることを切に願っている。

大変お世話になりました。(拍手)

#### **山沖会長**

霞ヶ関3丁目に財務省の建物があり、研究所は4階なので、ぜひお立ち寄りください。

#### **森委員**

山沖会長からのお話の通り、年度末をもって退任させて頂くことになった。今年度は職務専念の義務免除の形でこの委員会に参加していたが、本務との兼ね合いで欠席することも多く、このままではかえって迷惑をかけてしまうことになるので、継続は難しいと判断した。

委員の皆さまの池田町を思う真摯な議論にはいつも頭の下がる思いでいる。町の行財政について考える機会を頂き、勉強をさせて頂いた。これからは1住民として関わらせて頂ければと思っている。本当に有難うございました。(拍手)

#### **山沖会長**

お二人には11ヶ月ぐらい本委員会でご活躍いただきました。お礼申し上げます。有難うございました。

### **7 4月1日以降の委員欠員補充について**

#### **山沖会長**

続いて、欠員補充について町の説明を大澤課長からどうぞ。

#### **大澤課長**

大野委員については、識見を有する者として選出させて頂いており、その後任としては信大の辻庄市教授にお願いすることになった。4月に改めて挨拶いただくことになる。

森委員の後任についてはいろいろ考えたが、折り返し地点に来ていることを考え、1名欠員のまま9名で後半を進めて行きたいと考えている。

#### **山沖会長**

部会の構成について、蒸し返すようで申し訳ないが、もう一度、お諮りしたいことがある。

先ほど、第3部会に宮嶋委員を補充してはどうかという話になったが、公共施設の次の諮問項目が補助金の話になり、かなり複雑な内容になると考えられる。そこで、第3部会には私が入り、宮嶋委員には次の部会に入ってもらえないかと考えている。辻先生は財務省で地方

財政等に関わり地方債の発行等の仕事を歴任されているので、お二人を中心に補助金の部会のメンバーとして考えてもいいのかなと思う。宮嶋委員にも了解を得ているので、ご異存なければそのようにさせていただきたい。(確認)

## 8 4月1日以降の事務局体制について

### 山沖会長

我々の答申がそのまま受け入れられ、企画政策課が総務課に統合、それにもなっただけで事務局の体制が変わる。大澤課長から説明をお願いします。

### 大澤課長

今週の火曜日(22日)に人事異動の内示があった。行革の関係もあり、退職者不補充のほか、事務局も非常に厳しくなった。

まず、町づくり推進係は総務課企画係になり名称と所属が変わる。

私は、住民課に異動になる。後任には、現在の産業振興課長の宮澤が総務課長として委員会を担当させて頂くことになる。

また、町づくり推進係の丸山係長は、振興課農政係長として配属。後任の補充はない。矢口が総務課総務係に異動になるので、引き続き事務局を担当するのは塩原と望月の2名だけになる。そのため、今まで通りに皆さんへの対応ができるかどうか、非常に心配している。

中でも、議事録の作成だが、事務的な負担が大きく、以前、もう少し良いシステムがないかという提案もあったが、今の技術では思うようなものがないのが現状だ。

村端委員に手伝って頂けると話はまた別だが、会議の結論を要旨としてまとめる方向に変えていけないかとも考えており、お諮りしたい。

### 事務局(塩原係長)

今の話の続きだが、試しに第16回の会議録について、A4で2枚にまとめてみた。今後このような資料と、詳細については録音もしくは映像で公開するという形ではお願いできないものかと考えている。Zoomの録画の場合は、名前も資料の画面共有もそのまま確認できる。Zoom開催でない場合は別のシステムでも構わず、いずれにせよ録音録画したもので出していただけると思っているがご意見を聞かせてほしい。

### 村端委員

いままで6回ほどお手伝いしてきた。4月以降は要望があればお手伝いができる。

画像を出すことについては疑問などがある。最初から観ないと分からないし、誰がどこで何をいつしているのか、探さないといけない。記録として残すのは異論がないとして、文字ベースで残す意義はあるのだろうと思う。

できるだけ簡単なものにしていくことを前提にお手伝いするというのであれば構わない。協力する。

## 山沖会長

いままで4人だったところが2人の体制になるので、いままでと同じことは求められない。音声なら早送りできるので、場合によってはそれもある。ただ、村端委員が手伝ってもよいということなので、ゴールデンウイーク頃までやってみて、また状況を見て相談させて頂きたい。

## 事務局（塩原係長）

16回委員会については、お渡しした2枚とZoom画像というやり方でご理解願えないか。ただ画像になると顔が出るので、皆さんがどう考えられるかだ。あとは、村端委員と調整させていただき、場合によっては画像が出るという可能性もあることをご了承願いたい。

## 9 その他

### (1) 令和3年度後期委員報酬及び交通費について

#### 事務局（塩原係長）

明細表をお渡ししてあるので、間違いがあれば3月27日までにご連絡を。4月18日に振り込みの予定。

### (2) 第15回、16回の議事録の校正について

#### 事務局（塩原係長）

第15回の議事録を送っているので、3月30日までにメールでご連絡を。

第16回の扱いについては、先ほど確認した通り、村端委員、会長とも相談して決めたい。

### (3) 次回以降の委員会の持ち方

#### 事務局（塩原係長）

先ほどスケジュールのところ、2回に1回はZoomでという話だったが、4月15日はどうしたらよいか。（相談）

それでは、4月15日は対面で、27日はZoomでということにする。

## 山沖会長

今後、答申とか、懇談会とかという形で話をしなければならない機会もあるので、必ずしも1回おきに対面、オンラインということではないが、目安としておきたい。また、急遽、対面ということも起こりうることもご理解願いたい。

他に何かご意見はあるか。

### **和澤委員**

課の体制が変わり、事務局が2人になった。これまでは課長がいつも出ていたが、これからは総務課が担当になる。答申が出ればそれを受けて庁内でまとめていく必要がある。その意味で、課長に出てもらうのが一番いいが、課長補佐もいるので、総務課の然るべき管理職が出席してもらいたい。私としては、総務課長の方で調整してもらいたい。

### **大澤課長**

行革委員会には総務課長が出席するように引き継ぎしたい。総務課長もいろんな業務があるので、バッティングすることもあるかもしれないが、基本的には出席するようにしたい。

### **山沖会長**

町として行革委員会を重視し、総務課長が出席されると聞いている。

## **10 閉会（丸山副会長）**

事務局の皆さんには、異動後にご活躍を、また引き続きの皆さんには、今後ともよろしくお願ひしたい。以上で、第17回委員会を閉会する。お疲れ様でした。